栃木県眼科医会理事会だより（令和元年度第1回）

日時：2019年5月15日（水） 午後7時20分

場所：宇都宮市医師会館

出席：【会長】吉澤徹 【副会長】石崎道治、釣巻穰 【理事】青瀬雅資、井岡大治、井上裕治、稲葉全郎、上田昌弘、大久保彰、大塚信行、大柳静香、金子禮子、久保田芳美、斎藤信一郎、関本慎一郎、高橋雄二、堤雅弘、橋本尚子、細川美奈子、渡辺芽里 【監事】旭英幸 原裕 計22名
欠席：【理事】永田万由美 【顧問】柏瀬宗弘、川島秀俊、妹尾正、新井田孝裕、宮下浩 計6名

《会長挨拶》

皆さんこんばんは、いよいよ令和の時代を迎え、当眼科医会でも第一回の理事会となります。今年も大事な目標として、理事会員全員がそれぞれ異なる立場で意見を表明し、その上で力を合わせて頑張っけてゆくことを掲げたいと考えています。皆さんよろしくお願ひします。また今回から、新しい理事会員を迎える事になりました。原眼科病院勤務の橋本尚子先生です。これからよろしくお願ひします。

《総務》

報告1. 平成31年度栃眼医総会(4月14日(日) 自治医大)開催報告

【斎藤】

12時30分～13時25分までの間行われた。会員173名中出席者85名、委任状提出者28名、となり総会は成立した。

議事

1) 報告事項

① 平成30年度栃木県眼科医会会務報告	副会長：石崎道治
② 平成30年度栃木県眼科医会会計報告	経理：堤雅弘
③ 平成30年度栃木県眼科医会会計監査報告	監事：原裕

2) 協議事項

① 平成31年度栃木県眼科医会事業計画の件	副会長：石崎道治
② 平成31年度栃木県眼科医会予算の件	経理：堤雅弘
③ 平成31年度栃木県眼科医会役員の件	会長：吉澤徹
④ 平成31年度第1回日本眼科医会定例臨時代議員会の件	代議員：吉澤徹

以上、会員の承認を得た。

その他、一次救急の現状と今後の対応について会員に報告し、また、新入会員の紹介を行った。

報告2. 日眼医より「令和元年度各種補助事業と日眼医からの通知予定の一覧」送付の件

【吉澤】

例年のごとく事務局に送付された。理事には4月1日付けでメーリングリストにて資料配布済み。

報告3. 令和元年度第1回関プロ(5月25日(土)メトロポリタン高崎)の事前調査の件

【吉澤】

事務局より連絡

連絡協議会出席者

吉澤 徹 (県会長・日眼医代議員)	石崎道治 (県副会長・日眼医代議員)
原 裕 (関プロ監事)	

健康保険委員会出席者（議題は「保険」に記載）

大久保 彰（社保審査委員）

勤務医委員会出席者

上田 昌弘（県理事）

男女共同参画委員会出席者

金子禮子（県理事）

報告 4. 日眼医より依頼の平成30年度物故者調査の件

【斎藤】

無し（事務局より回答）

報告 5. 日眼医から連絡のC会員からB会員への変更の件

【斎藤】

高橋良太（自治医大眼科） 福与波音（自治医大眼科）

岡安彬彦（獨協医大眼科） 伊藤 栄（獨協医大眼科）

報告 6. 令和元年度定時代議員会 表彰対象者確認の件

【斎藤】

本県からは2名 会長表彰

役職永年勤続者 吉澤 徹（吉沢眼科医院）

高齢対象者 小西 恒夫（小西眼科医院）

事務局より追加は無し と返事済

報告 7. 日眼医から連絡の「ステロイド点眼薬使用時の注意点」チラシ配布協力について

【吉澤】

栃木県医師会会誌（栃医新聞6月5日号）にご掲載いただけることになった。

報告 8. 訃報の件

【斎藤】

本会理事高橋雄二先生のお母上 高橋ミュキ様(85歳)ご逝去

会員にFAX連絡（お供え・お香典等のご辞退されるとのこと）

報告 9. 会員の変更

【斎藤】

勤務先変更 B 水流忠彦（高根沢町 たかはし眼科）

氏名変更 B 横塚奈央（獨協医大眼科） 旧姓：西田

報告10. 令和元年度総務・経理合同常任委員会出席報告

【吉澤】

白根会長からの挨拶として、今年度以降の重要項目として、時代とともに内容、質ともに変わってきているCL諸問題に対応するため、医療対策部の中にCL対策に特化したチームを立ち上げる、災害対策として、地方ごとに災害対策チームを立ち上げ、地域ごとに適切な対応をはかる、視覚障害対策として、バリアフリー対策も含め、社会参加、健康維持を目的とした啓発活動を進める、新専門医制度対策として、勤務医を中心として眼科医会員の減少が懸念される、そのため、主にC会員に焦点を絞り、入会促進を行う予定（低額加入の所得補償保険、医師賠償保険の紹介など、）また、C会員の入会金を7,000円から3,000円に変更する予定。

1. 日 時 平成31（2019）年5月12日（日）11:00～12:00 昼食 12:00～14:30 委員会

2. 場 所 日本眼科医会事務所 〒105-0014 東京都港区芝2-2-14 一星芝ビルディング7階

3. 議 題

- 1) 平成30 (2018) 年度事業報告について
- 2) 平成30 (2018) 年度決算について
- 3) 令和元 (2019) 年度事業計画について
- 4) 令和元 (2019) 年度予算について
- 5) 令和2 (2020) 年度会費賦課徴収について
- 6) その他

以上の内容について検討を加え、代議員会への上梓を決定した。

**協議1. 令和元年度第1回日眼医定例臨時代議員会 (6月22日(土)、23(日)ザ・キャピトル東急)出席者と提出議
題** **【吉澤】**

吉澤徹代議員、石崎道治代議員

議題は、第1回関プロ連絡会議で協議予定

協議2. 来年度総会について **【斎藤】**

日程について検討を行い、令和2年4月12日(日)を候補日とした。

式次第については今年度に準ずる予定

協議3. 入会希望者について (転入、開業を含む) **【斎藤】**

新入会 C 佐々木 優 (獨協医大眼科)

C 城山 朋子 (獨協医大眼科)

C 橋本 悠人 (自治医大眼科)

C 高橋日香里 (自治医大眼科)

C 野口久美子 (自治医大眼科)

C 吉田 花 (自治医大眼科)

転入 B 平山裕美子 (大田原市 原眼科医院) 千葉県より

入会が承認された。

《経 理》 **【堤】**

報告1. 平成30年度経理部開催の報告

平成30年度経理部会を平成31年4月3日に東武ホテルグランデで開催。

報告2. 第77回栃木県眼科集談会収支報告

収入 AB会員69名、C会員10名参加にて計 233,370円

支出 569,345円。差額 335,675円を眼科医会一般会計より補填。

報告3. 関プロ準備積立金開始の報告

本年度より関プロ積立金を年額 20万円にて開始。

報告 4. 栃木県アイバンク協力募金について

総会日(4月14日(日))に栃木県アイバンクが預かり集計。

確認したところ、アイバンクより連絡が届いており、23医療機関 募金総額 287,157円とのことだった。

協議 1. 栃木県眼科医会会費収納のお知らせ発送予定の件

会費納入のお知らせを6月上旬に発送予定。

自動引き落としは6月7日(金)の予定。

協議 2. 栃木県眼科医会医事対策費からの政治献金の支払いについてご相談

医事対策費に対して、今後プール金の減少を目的に、

①学会託児所設置の費用を医事対策費にて支払う。

②当面会費納入に際し、医事対策費A会員20,000円、B会員5,000円を休止と決定。

本年度から対応予定。

を決定した。

《学 術》

【大久保】

報告 1. 第28回下野眼科談話会(3月15日(金)宇都宮グランドホテル 獨協医大眼科主催本会後援)開催報告51名参加

特別講演1:「人工知能技術の進歩と眼科を始めとした医療分野への連携」

遠野宏季氏 (株式会社Rist 代表取締役社長)

特別講演2:「眼科における人工知能の最新動向」

高橋秀徳先生 (自治医科大学眼科学講座 准教授)

報告 2. 第77回栃木県眼科集談会(平成31年4月14日(日) 自治医科大学)開催報告

93名参加 (会員79名)

一般講演 8題

特別講演 「滲出性黄斑疾患(exudative maculopathy)の診療アップデート」

柳 靖雄先生 (旭川医科大学眼科学講座教授)

報告 3. 県医師会より依頼の「栃木県医学会々誌 (Vol. 49 2018) 投稿原稿」について

平成30年度活動内容と令和元年度登録分科学会役員名簿は、事務局で作成、投稿済会員の投稿については獨協医大眼科に依頼した。

協議 1. 第60回栃木県眼科医会研究会(6月14日(金)宇都宮グランドホテルノバルティス)と共催の開催の件

講演1「黄斑疾患 最近の話題 CSCとPED、AMDへのPDT」

井上裕治先生 (自治医科大学眼科学講座 准教授)

講演2「糖尿病網膜症:治療の進歩」

鈴間 潔先生 (香川大学医学部眼科学教室 教授)

協議2. 第42回獨協医大眼科栃眼医合同講演会(7月12日(金))の件

特別講演 演者 藤田善史先生(藤田眼科 院長)
神谷和孝先生(北里大学医療衛生学部視覚機能療法学 教授)

協議3. 第13回栃木県内科眼科関連疾患懇話会(11月21日(木) 宇都宮グランドホテル)の件

演題1:川崎 良先生(大阪大学眼科学教室視覚情報制御学寄付講座 教授)
演題2:荒木栄一先生(熊本大学糖尿病・代謝・内分泌内科 教授)

協議4. 栃木県眼科医会獨協医大眼科病診連携の会の件

開催日:11月8日(金)
日程のみ決定 講師は獨協医大眼科に確認中。

協議5. 第78回栃木県眼科集談会の開催について

次回以降の理事会で協議することになった。

《医療安全対策及び福祉》

【関本】

協議1. 第90回栃木県眼科医会親睦ゴルフコンペの件

6月2日(日) 宮の森カントリー倶楽部にて開催予定

《保 険》

【井岡】

報告1. 令和元年度第1回健保研究会(4月15日(日)自治医大)開催報告

出席者は50名弱。 会員からの事前質問無し、審査委員との連絡で情報を集め、手術関連1件、検査関連2件、投薬関連1件(エイベリス点眼)について情報を公表した。
審査員からの個別のコメントは無し。質問があれば日眼医の社会保険Q&Aを見るか、栃眼医まで連絡するよう伝えた。

報告2. 令和元年度第1回関ブロ健康保険委員会(5月25日(土)メトロポリタン高崎)の事前調査について

大久保彰審査委員(社保)出席

質問#1:弱視・不同視に対する屈折検査について「6歳未満の症例で、弱視・不同視が疑われる場合に、概ね3月に1回請求できる。」とした点について。

「現時点では、弱視・不同視が確定した場合は、請求できない」が、これは現実と矛盾しているのではないか?

他県でのこの件についての現状や、何か問題はありますか?

質問#2:以前にも質問しましたが、栃木県では白内障手術を両眼同日に手術する医療機関があり、議論の結果、当県では請求を認めることとした。

他県でのこのような医療機関の増加や、トラブル、何か良い対策はありますか?

「確かに米国では、両眼同日手術の成績が報告されている。米国のように国土が広く、眼科医療機関に受診するのに車で数時間・自家用飛行機で1時間ほどもある国と我が国は国土が狭く、米国とは実情が異なり、あえてリスクを無視して施行するadvantageはないのではないか。」

質問# 3 : エイベリス点眼の1回処方可能本数について。

「新薬の投与量は発売後1年は、原則2週間分」のルールがあるが、栃木県では「1回2本を処方すると1本を査定される」との事例が多数報告されている。

他県の実情や何か対応はされていますか？

質問# 4 : 最近、栃木県に新規開業した医療機関で、多数の患者に、狭隅角緑内障あるいは狭隅角緑内障疑いの病名でLIを施行し、同月に白内障手術を施行する医療機関があります。

そのような医療機関は他県にもあるのでしょうか？

協議 1. 令和元年度第1回審査員連絡会の開催について

6月26日(火)に宇都宮市医師会館で開催予定

※変更は報告2の質問4の中のLPIをLIに変更するところ。

《広 報》

【大柳】

報告 1. 栃木県眼科医会会報第52号の件

会報原稿依頼状を送付しました。

締め切りは、6月20日(木)

第1回日眼医定例臨時時代議員会報告のみ 6月26日(水)とする。

《学校保健》

【久保田】

報告 1. コンタクトレンズ啓発資料の件

ミニチラシ2種類(日本眼科医会学校保健部監修)を株式会社オフテクスが制作。回覧し活用に特に問題なし。

院内掲示用ポスターの有無は問い合わせ中。

協議 1. 第43回全国眼科学校医連絡協議会(9月28日(日)、東京グランドホテル)の出席者と提出議題について

久保田理事が出席予定

提出議題は学生のコンタクトレンズ使用の諸問題につき、眼科での定期検査の受診率の低下やNet購入の拡大などを中心に議題を作成し提出予定。6月28日提出締切。

《公衆衛生》

【大塚】

報告 1. 平成31年度 眼科一次救急診療予定日を新聞社に連絡

事務局より5社(朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、産経新聞、下野新聞)に連絡

報告 2. 日眼医より送付の「令和元年度目の愛護デースローガンおよびポスター」について

ポスターの必要枚数は130枚と日眼医に連絡

令和元年度のスローガン

「守りたい。あなたの目とあなたの暮らし。

目は、暮らしに寄り添っているものだから。

お悩みがあれば、どうぞ早めにご相談ください。

私たち眼科専門医はあなたの目の味方です。」

報告3. スマートサイト講習会について

本会からは、3名が参加予定（日眼医に連絡済）

鈴木重成先生（獨協医大眼科）、横尾奈央先生（獨協医大眼科）、渡辺芽里先生（自治医大眼科）

協議1. 目の愛護デー記念行事開催に(10月6日(日)宇都宮市健康センター(ララスクエアビル9))の件

目の健康講座 演題

演者 は未定（国際医療福祉大学にお願いする）

無料相談員：田口裕隆先生（栃木市 大平眼科）

福澤裕一先生（小山市 小山福澤眼科）

日程：14：00～15：00 目の健康講座

15：00～(受付15：30まで) 目の無料相談

15：00～(受付15：30まで) 眼圧無料測定

下野新聞への投稿：

ポスター：色 緑色とする。

協議2：2019年度IRPSとちぎ医療講演。相談会編お講師派について(10月20日(日)真岡市チャットパレス予定)の件

講師は坂本晋一先生(芳賀赤十字病院眼科・自治医科大学眼科)に依頼した。

《医療対策》

【高橋】

報告1. 栃木県薬務課と栃木県医師会との面談予定(7月4日(木))の件

栃木県薬務課に、コンタクトレンズ管理者継続講習会の後援依頼ならびに講師の依頼、適切なコンタクトレンズ販売の為の陳情に吉澤徹会長、稲葉全郎理事、高橋雄二理事の3人が行く予定。

栃木県医師会に、コンタクトレンズ管理者継続講習会の後援依頼に、吉澤徹会長、稲葉全郎理事、高橋雄二理事の3人が行く予定。

令和元年12月1日(日)14：00より栃木県健康の森講堂にて稲田紀子先生を講師にお迎えしてコンタクトレンズ管理者継続講習会を開催する予定。

《勤務医》

【上田】

協議1. 第24回栃木県眼科手術談話会(5月17日(金)、宇都宮市医師会館)の件

一般演題 4題

特別講演 「MIGSの現状」 原 岳先生(原眼科病院院長)

協議2. 令和元年度関プロ勤務医委員会(5月25日(土)、メトロポリタン高崎)の件

上田理事出席 栃木県からは提出議題無し

事前調査が必要な議題として、神奈川県から「各県眼科医会役員のB会員の人数および割合とその役割分担について」という議題が出ている。

4月の総会で配布された役員職務分担表に基づき、回答する予定。

《男女共同参画》

【金子】

協議 1. 関東甲信越地区眼科医会連合会 男女共同参画委員会における提出議題

1) 神奈川県から 女性医師就職相談窓口があるか？どうすべきか？

第2回全国眼科男女共同参画協議会では、同様な質問あり。男女共同参画に関連する相談をどうするか？（ワークライフバランス 産休育休介護 復職支援 キャリアアップ支援 育児支援）があり対応が求められる場合どうするか？など。

結論として日本医師会 女性医師支援センター 女性医師バンクを紹介してほしい、登録料無料でコーディネーターがいるので相談してほしいとのことであった。

日本医師会の女性医師支援は栃木県内の医療機関について詳しくはないと思うので、相談者があつたりした場合には理事会で相談したい。

急を要するものは理事会のメーリングリストから至急意見を求めて対応したい。

栃木県眼科医会としては、男女共同参画担当理事が窓口となり、相談があれば、対応することにした。

2) 埼玉県から 女性医師支援アンケート調査結果が出されるので、結果を参考にしたい。

複数大学病院のある県で 大学 医師会 行政との連携の在り方について

栃木県は自治医科大学病院と獨協医科大学病院、医療福祉大学病院があるが栃木県眼科医会と理事会役員会、集談会、講演会などで連携は上手く取れていると思われる。

3) 山梨県から 託児所設置病院の現状報告予定 今後の参考にしたい。

《日眼医連盟》

【吉澤】

協議 1. 連盟から連絡の「羽生田議員に関するお願い」について

ポスター・チラシが事務局に送付されてきたため、開業施設に配布することとする。

《その他》

報告 1. 関東信越厚生局への嘆願書について

【吉澤】

4月20日(土)に投函済み。

報告 2. 栃木医療センターとの面談予定について

【吉澤】

一次救急について面談をすべく連絡を取っている。

次回理事会は、7月17日(水)に開催予定とする。

(斎藤信一郎 記)